

平成 21 年度決算に係る

定期監査
決算審査
調査
調書

平成 22 年 4 月

農林水産部農林総合研究所
企画総務部

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	組織及び業務調べ	1
4	職員の定員、現員調べ	2
5	役付職員の調べ	2
6	主な事業に関する調べ	3
7	決算調書（総括表）	7
8	事業別実施状況調べ	9
9	予備費の充用調べ	10
10	繰越関係調べ	10
	(1) 継続費運次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
11	収入証紙取扱額調べ	10
12	収入事務処理状況調べ	10
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 寄付金	
	(6) 諸収入	
13	税外収入未済額調べ	11
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	11
15	税外収入不納欠損額調べ	11
16	債務負担行為の状況調べ	11
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	12
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(2-2) 補助金（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
	(4-2) 委託料（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
18	工事請負費調べ	15
18-2	工事請負費調べ（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	15
19	財産に関する調べ	15
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
20	財産の貸付及び使用許可調べ	18
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの）	
21	借受不動産明細調べ	18

22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	18
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
23	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	19
24	寄附物件の受納状況調べ	19
25	備品の処分状況調べ	19
26	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	19
27	貸付金等状況調べ	19
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	

個別調査

28	事業別予算執行状況調べ	20
29	農業機械の管理状況	22
30	生産物（品）に関する調べ	22
31	試験研究調査事業別実施状況調べ	22
○	意見、要望等	22

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

指 摘 事 項	措 置 状 況 等
<p>公金振替の事務手続きについて 非常勤職員等の人件費について、一般会計から用品調達等集中管理事業特別会計への支出事務手続（公金振替）を行っていなかったため、今後このようなことのないよう適正な事務処理を行われたい。</p>	<p>事務処理漏れの無いよう、事務担当の主査、副査で相互に事務処理状況を確認するよう徹底を図る。</p>

(2) 監査意見 該当なし

(3) 決算審査意見

決 算 審 査 意 見	処 理 状 況 等
<p>ウ 財務に関する事務の適正な処理について 一般会計から用品調達等集中管理事業特別会計への支出事務手続（公金振替）が行われていなかった。</p>	<p>1(1)の措置状況等に記載のとおり</p>

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況 該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
農林総合研究所 企画総務部	総務担当	(1) 所の予算経理及び庶務に関すること (2) 所の連絡調整に関すること
	評価・研究企画担当	(3) 所の試験研究に係る評価・企画等の総合調整に関すること
	技術普及室	(4) 農林業の専門技術の普及指導に関すること (5) 農林業の普及指導事業に関すること (6) 農業気象に関すること

4 職員の定員、現員調べ


種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	22.4.1 現在	21.4.1 現在	22.4.1 現在	21.4.1 現在	22.4.1 現在	21.4.1 現在	22.4.1 現在	21.4.1 現在	
定員	10	10	15	15	3	3	28	28	
現員	12	10	15	15	3	3	30	28	
過不足(△)	2	0	0	0	0	0	2	0	育児休暇1名 病欠休暇1名
臨時職員	1	0	0	0	0	0	1	0	
非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	

5 役付職員の調べ

(平成22年4月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
所長	山本 健太郎	0	0	
部長	今岡 誠一	2	0	出納員
参事	石谷 正大	2	0	
主幹	西橋 孝政	2	0	
主幹	木山 雄一郎	0	0	
技術普及室長 兼専技主幹	渡辺 博幸	0	0	
専技主幹	神野 雄一	2	0	
専技主幹	阿部 竜三	2	0	
専技主幹	笠原 宏人	2	0	
専技主幹	伊澤 宏毅	0	0	通算2年0月
専技主幹	橋本 俊司	0	0	通算2年0月
専技主幹	吉田 亮	0	0	通算2年0月
専技主幹	河田 強	0	0	
専技主幹	福永 八千代	0	0	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要	要																									
<p>先端的農林水産試験研究推進強化事業</p> <p>決算（見込）額 4,833千円</p> <p>（財源内訳） 一般財源 4,556千円 その他 277千円</p> <p>○将来ビジョン 該当なし</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>（ア）目的</p> <p>①農林水産試験研究機関の試験研究課題について、多角的・客観的視点からの試験研究課題の選定、試験研究の効率的な実施及び広範囲に普及可能な技術等の確立を図ることを目的に、外部評価委員による評価を実施する。</p> <p>②各試験場が研究開発した新技術や新品種について、知的財産権の取得と活用を図る。</p> <p>③独立行政法人等の試験研究機関へ試験研究員を派遣し、高度な先端技術の習得、資質向上を図る。</p> <p>④地域ニーズに即した試験研究を効率的・効果的に実施するため、生産者等から試験研究要望について、各試験場の検討会と農林水産産業学官技術会議（会員：鳥取大学、鳥取県産業技術センター、農林総合研究所、農業団体等）を開催して、各要望内容を検討し、試験研究の実施機関を決定するとともに、試験研究の受託・共同研究を推進する。</p> <p>（イ）事業の実施状況</p> <p>①外部評価の実施 委員11名（学識経験者2名、流通・経済界1名、消費者代表2名、生産者代表6名）</p> <p>・評価の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価の種類</th> <th>対象の試験研究</th> <th>評価の着眼点</th> <th>課題数</th> <th>実施日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事前評価</td> <td>新規に取り組もうとする課題</td> <td>研究の必要性</td> <td>16課題</td> <td>平成21年</td> </tr> <tr> <td>中間評価</td> <td>3年以上の研究の中間年のもの</td> <td>継続の妥当性</td> <td>18課題</td> <td>9月7日、9日</td> </tr> <tr> <td>事後評価</td> <td>研究が終了したもの</td> <td>成果水準、効果</td> <td>16課題</td> <td>平成22年</td> </tr> <tr> <td>追加評価</td> <td>研究終了後3年を経過したもの</td> <td>成果普及、活用</td> <td>11課題</td> <td>3月18日</td> </tr> </tbody> </table> <p>※評価の結果は県ホームページで公表</p> <p>②知的財産権の取得の推進と活用 知的財産総合基礎セミナーの開催(H21.11.12)、知財情報のマスコミへの提供等</p> <p>③国の試験研究機関への研究員の派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(独) 農業・食品産業技術総合研究機構畜産草地研究所：1名3ヶ月 ・(独) 森林総合研究所：1名3ヶ月 <p>④農林水産産業学官技術会議・試験課題検討会の開催、受託・共同研究の推進</p> <p>イ 平成21年度実施に当たり改善等に取り組んだ点 受託・共同研究を推進するため、試験場共通のルール「受託研究・共同研究の取り組みの方向性」を検討するとともに、農林水産省他の競争的資金のガイドラインに即した研究活動・経理の不正防止の体制整備を行った。</p> <p>ウ 成果</p> <p>（ア）知的財産権の取得等（平成21年度分）</p> <p>1件の品種登録出願、2件の商標登録出願、特許出願中の3件の審査請求を行った。また、以前に出願した品種のうち6品種が登録された。特許について5件、品種について13件の実施許諾契約を締結した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品種登録出願 鳥姫（酒米） ・商標登録出願 大山ルビー（豚肉）、黒らっきょう（加工食品） ・特許出願の審査請求（出願から3年を迎えるもの） 草刈機、暗渠の洗浄方法、イネの内穎褐変病の防除剤 ・品種登録 プリティルビー（観賞用ラッキョウ）、ゆめそらら（稲）、 鳥取LD-1号・鳥取LD-2号・鳥取LD-3号（はたけしめじ）、輝太郎（柿） 	評価の種類	対象の試験研究	評価の着眼点	課題数	実施日	事前評価	新規に取り組もうとする課題	研究の必要性	16課題	平成21年	中間評価	3年以上の研究の中間年のもの	継続の妥当性	18課題	9月7日、9日	事後評価	研究が終了したもの	成果水準、効果	16課題	平成22年	追加評価	研究終了後3年を経過したもの	成果普及、活用	11課題	3月18日	<p>大山ルビー (RB)</p> 
評価の種類	対象の試験研究	評価の着眼点	課題数	実施日																							
事前評価	新規に取り組もうとする課題	研究の必要性	16課題	平成21年																							
中間評価	3年以上の研究の中間年のもの	継続の妥当性	18課題	9月7日、9日																							
事後評価	研究が終了したもの	成果水準、効果	16課題	平成22年																							
追加評価	研究終了後3年を経過したもの	成果普及、活用	11課題	3月18日																							

・実施許諾契約

特許：ラッキョウの加工方法（5件）

品種：プリティルビー（1件）、グリーンパードJ（芝、8件）、
輝太郎（柿、1件）、三朝神倉（大豆、1件）、
緑だんだん（大豆、1件）、鳥取大山2001（大豆、1件）

（イ）国の試験研究機関への研究員の派遣

研究員の長期派遣研修により、本県試験場の機器等では対応困難な試験研究に取り
組むとともに、技術取得と資質向上が図られた。

（ウ）農林水産業産学官技術会議・試験課題検討会の開催、受託・共同研究の推進

試験研究の要望があった201件について内容を検討し、要望ごとに試験研究を実施す
る研究機関を決定した。

受託研究（17件）、共同研究（7件）を実施した。

エ 課 題

外部評価制度（平成20年度導入）について、例えば、事後評価（試験結果を評価）
と追跡評価（試験結果の普及状況を評価）の統合を検討するなど、より効率的・効果
的な評価制度になるように継続的に見直しを行なう。

保有が長期に亘る知的財産について、利用状況、許諾料収入や権利維持に要する経
費などを勘案し、継続保有の必要性について個別に検討する。

6 主な事業に関する調べ

事業名	概	要
<p>農業改良普及指導活動費</p> <p>決算（見込）額 18,491千円</p> <p>（財源内訳） 国庫支出金 7,814千円 一般財源 10,677千円</p> <p>○将来ビジョン 該当なし</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>（ア）目的 鳥取県の農業を活性化させるため、農業者の自立を促す普及活動を効果的に展開することを目的とした。</p> <p>（イ）事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接農業者に接して、農業生産方式や農業経営の改善、及び農村生活の改善の普及指導にあたる改良普及員を7普及所に配属（108名）し、各普及所で、地域の実情にあわせた課題解決のための普及指導計画（全160課題）をたて普及活動を展開した。 ・普及対象は、課題ごとに重点化（全1,875経営体）して取り組んだ。 <p>（主な普及手段） 現地巡回指導、指導会、研修会の開催、先進地視察、技術実証ほ・展示ほの設置（48箇所）、土壌分析、経営改善支援、各種調査・情報提供、関係機関との連携会議での助言等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各専門項目について調査研究を行うとともに、改良普及員の活動支援と研修の計画・実施、試験研究機関との調整等を行う専門技術員を企画総務部技術普及室に配置（9名）して、活動した。 <p>（専門技術員の主な活動） 改良普及員が現地で活動する際の技術的アドバイス、調査研究の実施（10課題）、試験研究機関に対する助言等（普及指導員の研修は、研修費で計上）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普及活動に必要な機材の整備 振とう機1台 デジタル糖度計1台 <p>イ 平成21年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 各普及所から2～3名経営担当者を選定し、専門技術員3名加えた農業経営指導担当者会を開催し、情報の共有化と普及員のレベルアップのための所内研修を行い、経営指導の強化を図った。</p> <p>ウ 成果</p> <p>【普及課題における主な実績事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題：「新規就農者及び就農希望者の育成及び支援」 新規就農者や就農希望者に対し、相談の対応、就農計画作成支援、就農後の技術習得及び経営改善支援等を行なった。今年度農業法人への就職を含め新規就農者は100名を超える見込みで、個別の営農目標達成に向け支援を実施中である。 ○課題：「梨新品種の新植・改植推進」 県内梨生産者の所得向上を目指し、有望な梨新品種の導入を推進するため、モデル園（現地での栽培実証ほ場）を設置し、栽培特性の紹介、新植や改植の意向がある生産者への技術支援、新品種に関する研修会等を行なった。その結果、今年度全県下で約9haの新改植、約2haの高接ぎがされ、産地への新品種導入が進みつつある。 <p>エ 課題 外部評価検討会の意見を参考に、普及対象の理解を得てよりの確な普及課題の設定に努め、市町村等関係機関と緊密な連携を取りながら役割分担し、効率的な普及活動を展開する。</p>	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要																				
<p>林業普及指導事業</p> <p>決算（見込）額 9,316千円</p> <p>（財源内訳） 国庫支出金 2,408千円 一般財源 6,908千円</p> <p>○将来ビジョン 該当なし</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>（ア）目的 健全な森林の保全とこれを担う人材を育成するために、林業、木材の技術・知識の普及、森林施業の指導を行い、林業及び地域の振興を図る。</p> <p>（イ）事業の実施状況</p> <p>○ 県下に下記のとおり普及区を設置し、①低コスト林業の推進（団地化、高密度作業路網、間伐材生産の機械化）、②高度な森林施業技術の普及・支援、③特用林産物の振興、④木材の加工・流通・利用推進の取組み支援の4課題について、地域に応じた普及指導計画を作成し、林家・林業者等を対象に技術指導や研修会の開催及び座談会等の開催により間伐施業の喚起や各種林業施策啓発等の普及指導活動を実施した。</p> <p><普及指導区及び林業普及指導員の配置状況></p> <table border="1" data-bbox="470 638 1412 862"> <thead> <tr> <th>普及区</th> <th>普及区の範囲</th> <th>林業普及指導員配置数</th> <th>配置部署</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東部</td> <td>東部総合事務所管内</td> <td>3名</td> <td>東部総合事務所</td> </tr> <tr> <td>八頭</td> <td>八頭総合事務所管内</td> <td>3名</td> <td>八頭総合事務所</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>中部総合事務所管内</td> <td>2名</td> <td>中部総合事務所</td> </tr> <tr> <td>日野川</td> <td>西部・日野総合事務所管内</td> <td>3名</td> <td>日野総合事務所（西部総合事務所との兼務）</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 農林総合研究所企画総務部に専技・農林技師各1名を配置し、林業普及指導員のスキルアップを図るための下記研修会や現場での個別指導の支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業道開設技術現地研修会 2回、10日間 ・間伐、搬出技術研修会 3回、3日間 ・長伐期施業研修会 1回、1日間 ・木材加工研修会 2回、2日間 <p>イ 平成21年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 月例打合せ、中間検討等を行い、普及計画の進捗管理を図るとともに普及客体の変化を捉えた普及指導を実施。</p> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会や地区座談会等を通して林家等の森林整備意欲の喚起が図られ、若桜町糸白見ほか36地区（目標22団地）で、関係者の総意による低コスト間伐団地が設置され、38団地で路網が整備され、琴浦町中村ほか27団地で、搬出間伐が実施された。 ・若桜地区では素材生産業者（供給者）と製材業者（需用者）の連携が図られ、丸太の工場直送システムが実現した。 ・しいたけのブランド化支援により、全国的にも希少な有機JAS認証を複数の生産者が取得し、産地化が図られた。 ・過去の作業道開設実態を調査し、不具合に応じた開設技術の改善等の普及が図られた。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低コスト林業の推進については、一部の地域で取組が進んでおり、森林所有者への施業喚起を継続しながら、これら地域の事業体の取組支援に重点を移す必要がある。 ・さらに取組を面的に広げるために、地域の幹線路網のあり方を市町村・森林組合等と検討していく必要がある。 ・木材の加工・流通・利用推進の取組み支援については、不況により県計業界の意欲が乏しく、方向性が見いだしにくい状況、八頭地区のような丸太の流通改善等を検討したい。 ・特用林産物の振興については、原木椎茸を中心に実施し、生産量の増等の成果があるが、客体に応じた課題の絞り込みを実施したい。 	普及区	普及区の範囲	林業普及指導員配置数	配置部署	東部	東部総合事務所管内	3名	東部総合事務所	八頭	八頭総合事務所管内	3名	八頭総合事務所	中部	中部総合事務所管内	2名	中部総合事務所	日野川	西部・日野総合事務所管内	3名	日野総合事務所（西部総合事務所との兼務）
普及区	普及区の範囲	林業普及指導員配置数	配置部署																		
東部	東部総合事務所管内	3名	東部総合事務所																		
八頭	八頭総合事務所管内	3名	八頭総合事務所																		
中部	中部総合事務所管内	2名	中部総合事務所																		
日野川	西部・日野総合事務所管内	3名	日野総合事務所（西部総合事務所との兼務）																		

7 歳出調整 (総括表) (一般会計)

平成22年1月31日現在 (単位: 円)

区分	科目	予算			現額		翌年度繰越額 C	差引増減額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	計 A	予備費支出及び流用増減			
歳出	農業総務費	7,833,000	13,345,000		21,178,000	17,209,614		3,968,386	
	農業改良普及費	61,362,000	0		61,362,000	9,006,451		52,355,549	
	農業試験場費	72,722,000	85,696,000		158,418,000	25,071,647		133,346,353	
	園芸試験場費	167,225,000	17,597,000		184,822,000	61,207,612		123,614,388	
	畜産試験場費	119,999,000	14,225,000		134,224,000	75,759,556		58,464,444	
	中小家畜試験場費	68,382,000	0		68,382,000	37,960,485		30,421,515	
	林業振興費	9,316,000	0		9,316,000	1,332,090		7,983,910	
	林業試験場費	58,091,000	50,498,000		108,589,000	44,460,209		64,128,791	
	合計	564,930,000	181,361,000		746,291,000	272,007,664		474,283,336	
		農林水産業使用料	0				13,740		▲ 13,740
同上	行政財産使用料	0				872,565		▲ 872,565	
	農林水産業手数料	3,106,000			3,106,000	102,720		3,003,280	
	農林水産業費国庫補助金	22,147,000	112,312,000		134,459,000	11,520,000		122,939,000	
	農林水産業費委託金	1,049,000			1,049,000	1,957,000		▲ 908,000	
	財産貸付収入	277,000			277,000	22,158		▲ 254,842	
	生産物売払収入	44,142,000			44,142,000	45,205,629		▲ 1,063,000	
	家畜類売払収入	42,441,000			42,441,000	46,910,099		▲ 4,469,099	
	地域活性化・生活対策臨時交付金基金収入		28,531,000		28,531,000			28,531,000	
	農薬等検定受託事業収入	15,170,000			15,170,000	4,510,000		10,660,000	
	農林水産研究高度化事業受託収入	7,122,000			7,122,000	10,278,000		▲ 3,156,000	
内訳	プロジェクト研究受託事業収入	1,000,000			1,000,000	1,000,000		0	
	肥育技術実証試験受託事業収入	544,000			544,000	544,000		0	
	森林総合研究所受託事業収入		1,500,000		1,500,000	1,500,000		0	
	農薬・食品産業技術総合研究所受託事業収入		1,755,000		1,755,000			1,755,000	
	国立大学法人鳥取大学受託事業収入		2,950,000		2,950,000			2,950,000	
	関西地区林業協議会受託事業収入		2,040,000		2,040,000	2,040,000		0	
	雑入	708,000			708,000	600,853		107,147	
	小計	137,706,000	149,088,000		286,794,000	127,076,764		159,717,236	
	一般県費充当	427,224,000	32,273,000		459,497,000	144,930,900		314,566,100	
	合計	564,930,000	181,361,000		746,291,000	272,007,664		474,283,336	

7 歳出経費

(総括表)(用品調達等集中管理事業特別会計)

平成22年1月31日現在)

単位:円

区分	科目	予算				現算		計 A	支出済額 B	翌年度 繰越額 C	差引増減額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	繰越費及び 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	額					
歳出	自動車管理事業費	8,353,800					8,353,800	2,315,940		6,037,860		
同上	合計	8,353,800					8,353,800	2,315,940		6,037,860		
財源	小計											
内訳	一般県費充当	8,353,800					8,353,800	4,557,818		3,795,982		
	合計	8,353,800					8,353,800	4,557,818		3,795,982		

8 事業別実施状況調べ

(単位:円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(農業総務費) 農林総合研究所管理運営費	14,345,000	11,591,485	0	2,753,515	農林総合研究所の管理運営を行った。
(主) 先端的農林水産試験研究推進強化事業	4,833,000	3,903,779	0	929,221	「6 主な事業に関する調べ」に記載
農林水産試験場臨時的調査研究事業	2,000,000	1,626,575	0	373,425	各試験場からの要望に基づき14件の試験研究を行った。 農業試験場 1件 園芸試験場 3件 畜産試験場 3件 中小家畜試験場 5件 林業試験場 2件
目 計	21,178,000	17,121,839	0	4,056,161	
(農業改良普及費) 農業改良普及所管理運営費	34,732,000	16,767,502	0	17,964,498	県下7カ所の農業改良普及所の管理運営に関する経費。公用車、情報ネットワーク、携帯電話などを活用した普及活動を展開し、効率的に農業者への支援を行った。
(主) 農業改良普及指導活動費	18,491,000	8,927,407	0	9,563,593	「6 主な事業に関する調べ」に記載
普及職員研修費	6,076,000	2,918,575	0	3,157,425	農業改良普及所職員の資質向上を目指した研修に関する経費。新任期において重点的に能力向上を図るため、7名に対して集合研修を実施した。また、経験を積んだ職員についても国の実施する研修に、延べ36名を参加させ、最新技術等の習得に努めた。
目 計	59,299,000	28,613,484	0	30,685,516	
(林業振興費) (主) 林業普及指導事業	9,316,000	3,550,374	0	5,765,626	「6 主な事業に関する調べ」に記載
目 計	9,316,000	3,550,374	0	5,765,626	
合 計	89,793,000	49,285,697	0	40,507,303	

9 予備費の充用調べ 該当なし

10 繰越関係調べ

(1) 継続費通次繰越調べ 該当なし

(2) 繰越明許費調べ 該当なし

(3) 事故繰越調べ 該当なし

11 収入証紙取扱額調べ 該当なし

12 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料 該当なし

(3) 手数料 該当なし

(4) 財産収入

(単位：円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
財産貸付収入	財産貸付収入		4	22,158	22,158	0	0		待許実施料等
	計(節)		4	22,158	22,158	0	0		
	目計		4	22,158	22,158	0	0		
	合計		4	22,158	22,158	0	0		

(5) 寄付金 該当なし

(6) 諸収入

(単位：円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	目							
受託事業収入									
	農業等検定受託事業収入		5	4,510,000	4,510,000	0	0		
	プロジェクト研究受託事業収入		2	1,950,000	1,950,000	0	0		
	農林水産研究高度化受託事業収入		4	10,278,000	10,278,000	0	0		
	環境省及び型型普及推進試験受託事業収入		1	544,000	544,000	0	0		
	森林総合研究所受託事業収入		2	1,500,000	1,500,000	0	0		
	農西地区林業試験研究機関		1	2,040,000	2,040,000	0	0		
	農林総合研究所受託事業収入		15	20,822,000	20,822,000	0	0		
	計(節)								
	目計		15	20,822,000	20,822,000	0	0		
	合計		15	20,822,000	20,822,000	0	0		

13 税外収入未済額調べ 該当なし

14 未収金回収促進のための取り組み状況調べ 該当なし

15 税外収入不納欠損額調べ 該当なし

16 債務負担行為の状況調べ 該当なし

17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ
 (1) 負担金

(単位：円)

予算科目 (目)	予算額令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令名等 (規約、要領等を含む)	備考
(農業総務費)	120,000	(社)水溫協会会費	(社)水溫協会	定額	H21.5.15	120,000		
支出額が10万円 未済のもの						37,800		
目計						157,800		
(農業改良普及費)	280,000	全国普及情報ネットワ ーク利用負担金	(社)全国農業改良 普及支援協会	定額	H21.5.12	280,000		
	490,000	全国農業改良普及支援 協会会費	(社)全国農業改良 普及支援協会	定額	H21.7.7	441,000		
支出額が10万円 未済のもの						0		
目計						721,000		
合計						878,800		

(2) 補助金

予算科目 (林業振興費)

① 国 補 分 該当なし

② 単 県 分

(単位：円)

補助金等の名称 (補助金の創設年度)	交付先	間 接	補助対象経費 補助率及び 補助金額	実施計画承認 又は内示年月日	着 手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備考
				交付申請 年月日	完了 年月日	検 査 年月日	概算 精算 の別	支 出 年月日	金 額	
鳥取県林業後継者 育成事業費補助金 (11年度)	鳥取県林 業研究グ ループ連 絡協議会		320,000	—	—		概算	H21.6.1	80,000	
			H21.5.1	—	—	H21.12.18		40,000		
林業研究グループ の自主活動に対す る支援			(補助率:1/2) 160,000	H21.5.21						
単 県 分 計									120,000	
表の補足説明	1 「交付申請年月日」及び「交付決定年月日」欄の()書きは、変更に係るものの当初の年月日である。 2 翌年度繰越分の期間・繰越事業費を「備考」欄に記載する場合の()書きは補助金相当額である。									

(2-2) 補助金 (他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)

該当なし

(3) 交付金

該当なし

(4) 委託料

(単位：円)

予算科目 (目)	国 庫 単 位 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約		契約		入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日) 契約形態	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備 考
				予定価格	変更契約(最終) (契約年月日) 契約額	契約 期間	契約 期間			支出 区分	支 出 年 月 日	金 額	
(農業総務費) 予定価格が20万円 未満のもの												25,200	
目計												25,200	
(農業改良普及費) 予定価格が20万円 未満のもの												88,935	西部農林局、 日野農林局へ 令選
目計												88,935	
合計												114,135	

(4-2) 委託料 (他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)

(単位：円)

予算科目 (目)	国 庫 単 位 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約		契約		入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日) 契約形態	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備 考
				予定価格	変更契約(最終) (契約年月日) 契約額	契約 期間	契約 期間			支出 区分	支 出 年 月 日	金 額	
(中小企業振興費)	単 位	特許出願委託 契約「リンゴ の診断法」	特許 事務所	222,495	(H21.7.15) 222,495	H21.7.15 ~ H21.7.27	H21.7.10 (免除)	H21.7.27		精算	H21.8.21	222,495	
予定価格が20万円 未満のもの												12,495	
目計												234,990	
合計												234,990	

18 工事請負費調べ 該当なし

18-2 工事請負費調べ（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの） 該当なし

19 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地 該当なし

イ 建物 該当なし

ウ 山林 該当なし

エ 不動産売却等 該当なし

オ 財産の交換 該当なし

カ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機） 該当なし

キ 物権 該当なし

ク 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）

(ア) 異動状況 (平成22年1月31日現在)

区分	前年度末	本年度中		本年度末	備考
		増	減		
特許権	5件	0件	0件	5件	
合計	5	0	0	5	

(イ) 出願及び登録の状況

区分	名称		出願日	登録日	活用の有無
特許権	田植機		H 4. 4. 2	H 8. 9. 2	有
	マルチ移植機のシート押圧装置		H 4. 11. 4	H 8. 9. 2	無
	マルチシートの敷設方法及び装置		H10. 8. 6	H11. 9. 10	無
	施肥機を利用した水稲湛水直播き方法及びその播種機		H13. 6. 25	H16. 9. 3	無
	ナシの遺伝子診断による自家和合性個体の選抜法		H14. 2. 22	H18. 1. 20	無
	リンゴ葉緑体シヤハ'ロニαサブ'ユニットのcDNA、リンゴ葉緑体シヤハ'ロニαサブ'ユニットのDNA、リンゴ及びリンゴ斑点落葉病に強いリンゴの診断法		H15. 2. 7	出願中	無
	キノコの培地及びキノコの栽培方法		H17. 12. 2	出願中	有
	草刈機		H18. 11. 30	出願中	無
	暗渠の洗浄方法		H19. 3. 22	出願中	無
	イネ内穎褐変病の微生物防除剤および防除方法		H19. 3. 30	出願中	無
	農業用ひざ当て		H19. 10. 12	出願中	有
	ウシ個体における枝肉重量を評価する遺伝子マーカー及びそれを用いた枝肉重量評価方法		H20. 3. 31	出願中	無
	加工ラッキョウ、およびその処理方法		H20. 5. 30	出願中	有
	ナシ属植物の染色体の作出方法、およびナシ属植物の倍数体		H20. 10. 29	出願中	無
	尿汚水浄化装置およびその浄化方法		H20. 12. 17	出願中	無
精液注入装置		H21. 3. 18	出願中	無	
出願中	11 件	登録	5 件		
商標権	黒らつきょう		H21. 7. 31	出願中	無
出願中	1 件	登録	0 件		

(ウ) 活用の状況

権利・品種名	相手方	契約年月日	契約期間	実施料収入額	利用料の算式	減免の有無
田植機	三菱農機(株)	H 4. 9. 7	H 4. 9. 7 ~	0	契約書により実施料を算定	無
農業用ひざ当て	(株)カノン	H20. 1. 10	H20. 1. 10 ~ H22. 1. 9	10,447	販売単価×数量× 1%×1.05	無
加工ラッキョウ、 およびその処理 方法	鳥取いなば農業 協同組合	H21. 9. 7	H21. 9. 7 ~ H22. 3. 31	0	販売単価×数量× 1%×1.05	無
	(株)ゼンヤクノ ー	H21. 9. 25	H21. 9. 25 ~ H22. 3. 31	0	販売単価×数量× 1%×1.05	無
	宝福一(有)	H21. 10. 9	H21. 10. 9 ~ H22. 3. 31	0	販売単価×数量× 1%×1.05	無
	(株)井中組	H22. 1. 7	H22. 1. 7 ~ H22. 3. 31	0	販売単価×数量× 1%×1.05	無
キノコの培地及 びキノコの栽培 方法	日南振興(株)	H19. 4. 1	H19. 4. 1 ~ H22. 3. 31	0	販売単価×数量× 1%×1.05	無
	(株)エムズプラ ン	H19. 4. 1	H19. 4. 1 ~ H22. 3. 31	0	販売単価×数量× 1%×1.05	無

ケ 有価証券 該当なし

コ 出資による権利 該当なし

(2) 金券類の受払状況

(平成22年1月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
	円	円	円	円	
郵便切手及び郵便はがき	45,400	86,000	51,330	80,070	
収入印紙	0	159,000	159,000	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスプリペイドカード	0	0	0	0	
合 計	45,400	245,000	210,330	80,070	

(3) 基 金 該当なし

(4) 債 権 該当なし

20 財産の貸付け及び使用許可調べ 該当なし

21 借受不動産明細調べ 該当なし

22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅 該当なし

(2) 職員駐車場
ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	園芸試験場本場(東伯郡北栄町由良宿2048)	12.5	0
普通財産	-		

イ 異動状況
(行政財産)

月別	月初日	減		増		月末日		調定額	収入済額	収入未済額
		うち減免	人	うち減免	人	うち減免	うち減免			
4月	22日	人	人	人	人	22日	22日	0円		
5月	22					22	22	0		
6月	22					22	22	0		
7月	22					22	22	0		
8月	22					22	22	0		
9月	22					22	22	0		
10月	22					22	22	0		
11月	22					22	22	0		
12月	22					22	22	0		
1月	22		1	1		23	23	0		
2月										
3月										
合計								0	0円	0円

- 23 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ 該当なし
- 24 寄附物件の受納状況調べ 該当なし
- 25 備品の処分状況調べ 該当なし
- 26 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし
- 27 貸付金等状況調べ 該当なし

2.8 事業別予算執行状況調べ

目 名		一般管理費		(平成 22年1月31日現在)
事業名	予 算 令 達 額 円	支 出 済 額 円	左 の 事 業 内 訳	
一般管理費	222,320	222,320	(事業概要) 赴任旅費 園芸試験場1名 林業試験場1名	
計	222,320	222,320		

目 名		人事管理費		(平成 22年1月31日現在)
事業名	予 算 令 達 額 円	支 出 済 額 円	左 の 事 業 内 訳	
人事管理費	371,928	371,928	(事業概要) 労働安全衛生に関する経費 (幟、ポールスタンド、研修旅費)	
計	371,928	371,928		

目 名		財産管理費		(平成 22年1月31日現在)
事業名	予 算 令 達 額 円	支 出 済 額 円	左 の 事 業 内 訳	
県有施設営 繕事業	25,823,747	18,306,913	(事業概要) 庁舎等の修繕 農業試験場 16件 5,240,237円 園芸試験場 5件 1,661,373円 畜産試験場 2件 847,700円 中小家畜試験場 18件 6,721,953円 林業試験場 12件 3,835,650円	
計	25,823,747	18,306,913		

目 名		諸費		(平成 22年1月31日現在)
事業名	予 算 令 達 額 円	支 出 済 額 円	左 の 事 業 内 訳	
諸費	91,350	91,350	(事業概要) 交通事故賠償金 園芸試験場1件	
計	91,350	91,350		

目 名		企画総務費		(平成 22年1月31日現在)
事業名	予 算 令 達 額 円	支 出 済 額 円	左 の 事 業 内 訳	
海外協力推 進事業	202,830	202,830	(事業概要) 農業専門家として職員をモンゴルに派遣。 園芸試験場1名	
計	202,830	202,830		

目 名		労政総務費		(平成 22年1月31日現在)
事業名	予 算 令 達 額 円	支 出 済 額 円	左 の 事 業 内 訳	
緊急雇用創 出事業	579,000	0	(事業概要) 臨時的任用職員の雇用に要する経費。 企画総務部1名	
計	579,000	0		

目 名		中小企業振興費		(平成 22年1月31日現在)
事業名	予 算 令 達 額 円	支 出 済 額 円	左 の 事 業 内 訳	
打って出る鳥取 のものづくり支 援事業	850,500	850,500	(事業概要) バックアップ型トライアル発注制度による県内企業製品の購入。 林業試験場 3件	
戦略的知的財産 活用推進事業	333,290	333,290	特許申請の事務委託等に要する経費。	
計	1,183,790	1,183,790		

目 名		財産管理費(明許)		(平成 22年1月31日現在)
事業名	予 算 令 達 額 円	支 出 済 額 円	左 の 事 業 内 訳	
県有施設堂繕事 業(明許)	20,945,584	20,855,229	(事業概要) 庁舎等の修繕 農業試験場 6件 1,751,400円 園芸試験場 20件 6,754,818円 畜産試験場 21件 8,034,600円 中小家畜試験場 4件 1,213,800円 林業試験場 9件 3,100,611円	
計	20,945,584	20,855,299		

(用品調達等集中管理事業特別会計)

目 名		自動車管理事業費		(平成 22年1月31日現在)
事業名	予 算 令 達 額 円	支 出 済 額 円	左 の 事 業 内 訳	
自動車管 理事業	8,353,800	2,315,940	(事業概要) 公用車のリースバックに要する経費。	
計	8,353,800	2,315,940		

29 農業機械の管理状況 該当なし

30 生産物(品)に関する調べ 該当なし

31 試験研究調査事業別実施状況調べ 該当なし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等 特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等 特になし